



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2014年7月31日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、8月11日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

2014年度第2四半期に売上高と1株当たり事業利益⁽¹⁾が堅調に成長(CERベース)

第2四半期も成長路線を維持

- グループの売上高⁽²⁾は、ジェンザイム(29.1%増)と糖尿病(16.2%増)に牽引され、6.4%増⁽³⁾の80億7,500万ユーロ
- 成長基盤⁽⁴⁾は、14.5%⁽³⁾増の61億6,300万ユーロで、総売上高に占める割合は76.3%
- 事業純利益⁽¹⁾は、13.0%増の15億3,700万ユーロ(調整前3.9%増)
- 1株当たり事業純利益⁽¹⁾は、為替レート変動の影響を除き13.4%増の1.17ユーロ
- 2014年度上半期のフリーキャッシュフロー⁽⁵⁾は、33.1%増の23億9,000万ユーロ

新興市場が堅調に成長し、新製品の発売を達成

- 新興市場⁽⁶⁾の売上高は、16.5%増⁽³⁾の28億5,500万ユーロで、グループの総売上高に占める割合は35.4%
- メリアルは、NexGard™(ネクスガード)の発売成功に牽引され、6.2%増
- 米国でのNasacort® OTCの発売成功を受けて、コンシューマー・ヘルスケア(CHC)の売上高は9.2%増⁽⁷⁾

研究開発パイプラインが大幅に進展

- 9件の第III相 ODYSSEY 試験から、高コレステロール血症に対する alirocumab について肯定的な結果を確認
- 米国糖尿病学会(ADA)にて、Toujeo®に関する肯定的な第III相試験結果を発表し、米国、EU、日本で承認申請を提出
- アトピー性皮膚炎における dupilumab に関して良好な第II相試験データを確認し、年内に第III相試験を開始する予定
- 関節リウマチにおける sarilumab に関する第III相試験からの肯定的な新しい詳細データを欧州リウマチ学会(EULAR)で発表
- 多発性硬化症における Lemtrada™の再申請が米国食品医薬品局(FDA)に受理される

2014年通年の財務見通しを調整

- 2014年度上半期の財務実績を考慮すると、重大な予期せぬ要因が発生しない限り、米国において保健支払者レベルで競争圧力が高まっているにもかかわらず、2014年度の1株当たり事業利益は前年比で6~8%程度(為替レート変動の影響を除く⁽¹⁾)増加するものと予想されます。

サノフィ最高経営責任者(CEO)のクリストファー・A・ヴィーバッハーのコメント:

「第2四半期の堅調な業績は、成長戦略を継続的に推進していることを反映したものであり、これを受けて、2014年度通年の財務見通しをわずかに上方修正しました。第2四半期には、売上高全体に占める成長基盤の割合が75%超となりました。後期開発段階にあるパイプラインの勢いを活かし、サノフィをバイオフィーマーリーダーとして再定義する一連の新製品投入に備えて積極的に準備を進めています」

(1)財務指標の定義は付録10を参照 (2)特に指定のない限り、純売上高の増加は為替レート変動の影響を除いて(CER)算出(定義は付録10を参照)
 (3)ブラジルのジェネリック医薬品を除くと、グループの売上高は3.9%増、成長基盤は10.7%増、新興市場は8.6%増 (4)2ページを参照 (5)設備投資後のフリーキャッシュフロー (6)定義は10ページを参照 (7)カテゴリーの変更を含めると、CHCの売上高は20.2%増

2014年度第2四半期および上半期の主要データ

	2014年度 第2四半期	前年同期比 (調整前)	前年同期比 (CER)	2014年度 上半期	前年同期比 (調整前)	前年同期比 (CER)
純売上高	€8,075m	+0.9%	+6.4%	€15,917m	-0.9%	+4.9%
事業純利益 ⁽¹⁾	€1,537m	+3.9%	+13.0%	€3,084m	+0.2%	+9.2%
1株当たり事業純利益 ⁽¹⁾	€1.17	+4.5%	+13.4%	€2.34	+0.9%	+9.9%

当グループの業績をわかりやすく示すため、事業純利益計算書について説明します。事業純利益⁽¹⁾は、GAAP(一般会計原則)に調整を加えた財務指標です。2014年度上半期の連結損益計算書については付録4に、事業純利益から連結純利益への調整については付録3に記載しています。2014年度上半期の連結純利益は、前年同期の14億3,700万ユーロに対し、18億6,100万ユーロでした。2014年度上半期の連結1株当たり利益は、前年同期の1.09ユーロに対し、1.41ユーロでした。

2014年度第2四半期および上半期の売上高

特に指定のない限り、当プレスリリースの売上高伸長データは、為替レート変動の影響を排除して⁽¹⁾算出しています。

2014年度第2四半期における売上高は、前年同期比(調整前)0.9%増の80億7,500万ユーロとなりました。為替レートの変動(米ドルをはじめとする他の通貨に対するユーロ高)により、5.5ポイントのマイナスの影響を受けました。

2014年度上半期における売上高は、前年同期比(調整前)0.9%減の159億1,700万ユーロとなりました。為替レートの変動により、5.8ポイントのマイナスの影響を受けました。

成長基盤

2014年度第2四半期におけるグループの成長基盤の売上高は、新興市場(16.5%増)、ジェンザイム(29.1%増)、糖尿病(16.2%増)に牽引され、14.5%増の61億6,300万ユーロとなりました。2013年度第2四半期に1億2,200万ユーロの調整の影響を受けたブラジルのジェネリック医薬品を除くと、成長基盤は10.7%増となりました。第2四半期におけるグループの成長基盤が連結売上高全体に占める割合は、前年同期の71.5%から76.3%に増加しました。2014年度上半期における成長基盤の売上高は、11.2%増の119億3,900万ユーロであり、連結売上高全体に占める割合は、前年同期の71.3%から75.0%に増加しました。ブラジルのジェネリック医薬品を除くと、2014年度上半期における成長基盤の売上高は、9.0%増となりました。

(単位:100万ユーロ)	2014年度 第2四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
糖尿病	1,788	+16.2%	3,450	+14.7%
コンシューマー・ヘルスケア(CHC)	816	+20.2%	1,701	+19.4%
ワクチン	718	-0.4%	1,346	-2.2%
ジェンザイム	643	+29.1%	1,209	+25.4%
動物用医薬品	537	+6.2%	1,054	+2.2%
その他の革新的製品 ^(a)	189	+13.3%	379	+17.8%
新興市場 ^(b)	2,855	+16.5% ^(c)	5,445	+11.0% ^(c)
—糖尿病、ワクチン、CHC、動物 用医薬品、ジェンザイム、その他の 革新的製品	1,383	+17.8%	2,645	+15.1%
—その他の製品	1,472	+15.3%	2,800	+7.3%
成長基盤合計	6,163	+14.5%	11,939	+11.2%

(a) 上記のその他の成長基盤に属さない最近の製品発売、すなわち Multaq[®]、Jevtana[®](ジェブタナ)、Zaltrap[®]、Auvi-Q[™]、および Mozobil[®]を含む

(b) 米国、カナダ、西欧諸国、日本、オーストラリア、ニュージーランドを除く各国

(c) ブラジルのジェネリック医薬品を除くと、2014年度第2四半期の新興市場の売上高は8.6%増、上半期の売上高は6.5%増

⁽¹⁾ 財務指標の定義は付録10を参照

医薬品

2014 年度第 2 四半期における医薬品事業の売上高は、米国と新興市場の好業績を反映し、7.2%増の 68 億 2,000 万ユーロとなりました。ブラジルのジェネリック医薬品を除くと、医薬品事業の売上高は 4.1%増でした。上半期における医薬品事業の売上高は、5.9%増の 135 億 1,700 万ユーロとなりました。ブラジルのジェネリック医薬品を除くと、2014 年度上半期における医薬品事業の売上高は 4.2%増でした。

糖尿病領域

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 第 2 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014 年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
Lantus [®] (ランタス)	1,557	+16.3%	3,005	+14.9%
Amaryl [®] (アマリール)	96	+4.0%	182	+2.1%
Apidra [®] (アピドラ)	77	+19.1%	152	+19.4%
Insuman [®]	33	+6.3%	65	+4.6%
BGM(血糖測定器)	16	+33.3%	32	+39.1%
Lyxumia [®] (リクスミア)	6	-	11	-
糖尿病領域合計	1,788	+16.2%	3,450	+14.7%

第 2 四半期における**糖尿病領域**の売上高は、Lantus[®](ランタス) (16.3%増の 15 億 5,700 万ユーロ)に牽引され、16.2%増の 17 億 8,800 万ユーロとなりました。糖尿病領域の上半期売上高は、14.7%増の 34 億 5,000 万ユーロでした。第 2 四半期における米国での Lantus[®](ランタス)の売上高は、20.3%増の 10 億 3,500 万ユーロであり、Lantus[®] SoloSTAR[®](ランタス注ソロスター)が Lantus[®](ランタス)の売上高全体に占める割合は、前年同期の 56.4%に対し、61.3%となりました。第 2 四半期における新興市場での Lantus[®](ランタス)の売上高は、中国、トルコ、中東、および一部の中南米諸国の好業績を反映し、16.1%増の 2 億 4,300 万ユーロに達しました。上半期における Lantus[®](ランタス)の売上高は、14.9%増の 30 億 500 万ユーロとなりました。

Amaryl[®](アマリール)の売上高は、4.0%増の 9,600 万ユーロでした。新興市場において Amaryl[®](アマリール)は引き続き好業績を達成し、16.9%増の 7,700 万ユーロの売上高を計上しました。上半期における Amaryl[®](アマリール)の売上高は、2.1%増の 1 億 8,200 万ユーロでした。

第 2 四半期における Apidra[®](アピドラ)の売上高は、米国(21.7%増の 2,700 万ユーロ)と新興市場(31.3%増の 1,800 万ユーロ)に牽引され、19.1%増の 7,700 万ユーロとなりました。上半期における Apidra[®](アピドラ)の売上高は、19.4%増の 1 億 5,200 万ユーロでした。

Lyxumia[®](リクスミア)は現在、日本、英国、イタリア、スペイン、およびメキシコなどの数カ国で提供されており、2014 年にその他の国でも発売が予定されています。Lyxumia[®](リクスミア)の第 2 四半期売上高は、600 万ユーロでした。2014 年 6 月、ドイツの調停委員会は、Lyxumia[®](リクスミア)に関して新たな保険償還水準を設定しました。この決定に基づき、サノフィは、ドイツにおける Lyxumia[®](リクスミア)の販売を再開していません。サノフィは、Lyxumia[®](リクスミア)のベネフィットリスクプロファイルと、Lyxumia[®](リクスミア)が患者さんにもたらす価値を確信しており、この裁定に対して法的措置を講じることを決定しました。上半期における Lyxumia[®](リクスミア)の売上高は、1,100 万ユーロでした。

コンシューマー・ヘルスケア

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 第 2 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014 年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
Allegra [®] (アレグラ)	94	+53.8%	198	+29.9%
Doliprane [®]	70	+4.4%	158	+6.0%
Essentiale [®]	55	+10.5%	121	+26.9%
Enterogermina [®]	36	+31.0%	74	+16.2%
Nasacort [®]	26	-	68	-
Lactacyd [®]	32	+41.7%	57	+25.5%
No Spa [®]	25	+20.8%	53	+11.1%
Dorflex [®]	27	+55.0%	50	+28.3%

Maalox®	23	+4.3%	50	+12.5%
その他の CHC 製品	428	+9.8%	872	+10.8%
コンシューマー・ヘルスケア合計	816	+20.2%	1,701	+19.4%

第2四半期におけるコンシューマー・ヘルスケア(CHC)製品の売上高は、20.2%増の8億1,600万ユーロとなりました。前年同期に処方薬として計上されていた複数の製品(売上高の合計7,300万ユーロ)が、コンシューマー・ヘルスケア製品に変更されました。このカテゴリー変更を除外すると、コンシューマー・ヘルスケアの売上高は、米国でのNasacort®のスイッチ OTC 薬の成功と新興市場における好業績(12.9%増)を反映し、9.2%増となりました。期中にDorflex®、Lactacyd® Enterogermina®、およびNo Spa®は2桁成長を達成しました。2月に米国でOTC医薬品として提供が開始されたNasacort® Allergy 24HR点鼻薬の第2四半期における米国での売上高は、2,100万ユーロでした。

上半期におけるCHCの売上高は、19.4%増の17億100万ユーロとなりました。上記のカテゴリー変更(上半期の売上高1億4,100万ユーロ)を除くと、CHCの売上高は、9.3%増でした。

ジェンザイム

(単位:100万ユーロ)	2014年度 第2四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
Cerezyme®(セレザイム)	175	+9.9%	343	+7.9%
Myozyme®(マイオザイム)/ Lumizyme®	133	+10.3%	254	+9.1%
Fabrazyme®(ファブラザイム)	123	+44.0%	221	+28.4%
Aldurazyme®(アウドラザイム)	45	+17.1%	86	+16.7%
希少疾患合計	540	+15.9%	1,023	+12.2%
Aubagio®	97	+209.1%	175	+245.3%
Lemtrada™	6	-	11	-
多発性硬化症合計	103	+227.3%	186	+266.0%
ジェンザイム合計	643	+29.1%	1,209	+25.4%

第2四半期におけるジェンザイムの売上高は、Aubagio® および Fabrazyme®(ファブラザイム)の成長によって牽引され、29.1%増の6億4,300万ユーロとなりました。売上高は、米国では27.3%増の2億3,500万ユーロ、新興市場では47.3%増の1億4,400万ユーロ、西欧諸国では22.9%増の2億900万ユーロでした。上半期におけるジェンザイムの売上高は、25.4%増の12億900万ユーロでした。

第2四半期におけるCerezyme®(セレザイム)の売上高は、新興市場(19.3%増の5,900万ユーロ)に牽引され、9.9%増の1億7,500万ユーロとなりました。Cerezyme®(セレザイム)の売上高は、西欧諸国で7.1%増の6,000万ユーロと米国で6.7%増の4,500万ユーロとなりました。販売価格で見たCerezyme®(セレザイム)の第2四半期における世界的な市場シェアは、73%でした。上半期におけるCerezyme®(セレザイム)の売上高は、7.9%増の3億4,300万ユーロでした。

第2四半期に、Fabrazyme®(ファブラザイム)は好業績を達成し、売上高が前年同期の800万ユーロから2,700万ユーロに増加した新興市場に牽引され、44.0%増の1億2,300万ユーロとなりました。西欧諸国において、Fabrazyme®(ファブラザイム)は、競合製品から市場シェアを奪って好業績を達成し、売上高は33.3%増の2,800万ユーロとなりました。米国におけるFabrazyme®(ファブラザイム)の売上高は、新規患者の増加を受けて16.0%増の5,500万ユーロとなりました。販売価格で見たFabrazyme®(ファブラザイム)の第2四半期における世界的な市場シェアは56%でした。上半期におけるFabrazyme®(ファブラザイム)の売上高は、28.4%増の2億2,100万ユーロでした。

第2四半期におけるMyozyme®(マイオザイム)/Lumizyme®の売上高は、新興市場(40.0%増の2,600万ユーロ)に牽引され、10.3%増の1億3,300万ユーロとなりました。米国での売上高は13.3%増の3,300万ユーロ、西欧諸国での売上高は2.9%減の6,700万ユーロでした。上半期におけるMyozyme®(マイオザイム)/Lumizyme®の売上高は、9.1%増の2億5,400万ユーロでした。

第2四半期におけるAubagio®の売上高は、前年同期の3,300万ユーロに対し、9,700万ユーロでした。第2四半期におけるAubagio®の米国での売上高は、前年同期の3,300万ユーロに対し、7,200万ユーロでした。2013年度第4四半期に同製品が発売された西欧諸国では、第2四半期における同製品の売上高が2,100万ユーロに達しました。同製品は

現在、ドイツ、スイス、北欧諸国、カナダ、アルゼンチン、およびオーストラリアで販売されています。上半期における Aubagio® の売上高は、245.3%増の 1 億 7,500 万ユーロでした。

Lemtrada™ は、9 月に欧州委員会の承認を取得し、現在、ドイツ、北欧諸国、カナダを含む数カ国で販売されており、2014 年下半期にその他の国でも発売が予定されています。Lemtrada™ の第 2 四半期の売上高は 600 万ユーロ、上半期の売上高は 1,100 万ユーロでした。5 月 FDA は、Lemtrada™ の承認を求める生物学的製剤追加承認申請 (sBLA) の再提出を受理しました。Lemtrada™ の sBLA には、6 カ月間の審査期間が割り当てられています。

その他の革新的製品⁽⁸⁾

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 第 2 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014 年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
Multaq®	66	+0.0%	139	+9.9%
Jevtana® (ジェブタナ)	66	+25.9%	132	+28.3%
Mozobil®	26	+4.0%	51	+2.0%
Zaltrap®	15	+14.3%	31	+28.0%
Auvi-Q™	16	+54.5%	26	+42.1%
その他の革新的製品合計	189	+13.3%	379	+17.8%

その他の革新的製品の売上高は、主に、最近の Jevtana® (ジェブタナ)、Zaltrap®、Auvi-Q™ 発売によって牽引され、第 2 四半期は 13.3%増の 1 億 8,900 万ユーロ、上半期は 17.8%増の 3 億 7,900 万ユーロとなりました。

第 2 四半期における Jevtana® (ジェブタナ) の売上高は、西欧諸国 (36.0%増の 3,400 万ユーロ) および新興市場 (57.1%増の 1,000 万ユーロ) での発売に牽引され、25.9%増の 6,600 万ユーロとなりました。上半期における Jevtana® (ジェブタナ) の売上高は、28.3%増の 1 億 3,200 万ユーロでした。

第 2 四半期における Zaltrap® の売上高は、西欧諸国での最近の発売 (前年同期の 300 万ユーロに対し、900 万ユーロ) によって米国での売上高減少が相殺され、14.3%増の 1,500 万ユーロとなりました。

2013 年 1 月に米国で発売された Auvi-Q™ の第 2 四半期の売上高は、54.5%増の 1,600 万ユーロとなりました。上半期における同製品の売上高は、42.1%増の 2,600 万ユーロでした。

その他の医薬品⁽⁸⁾

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 第 2 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014 年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
Plavix® (プラビックス)	425	-8.3%	912	+4.3%
Lovenox®	421	+0.5%	837	+0.9%
Aprovel®/Avapro®	193	-15.5%	372	-19.2%
Renvela®/Renagel® (レナジェル)	137	-18.3%	309	-6.6%
Synvisc® (サイビスク)/Synvisc-One®	93	-6.7%	163	-6.0%
Myslee® (マイスリー) /Ambien®/Stilnox®	73	-15.2%	151	-15.0%
Taxotere® (タキソテール)	67	-36.8%	136	-32.9%
Eloxatin®	47	-15.0%	93	-15.1%
Allegra® (アレグラ)	39	-46.8%	119	-46.4%

第 2 四半期における Plavix® (プラビックス) の売上高は、第 1 四半期に日本で消費税増税 (第 2 四半期に実施) 前に駆け込み需要が生じたことを反映し、8.3%減の 4 億 2,500 万ユーロとなりました。日本における売上高は、第 1 四半期に 48.5%増の 2 億 1,500 万ユーロとなっていました。第 2 四半期に 18.0%減の 1 億 4,300 万ユーロとなりました。新興市場の売上高は、中国 (15.9%増の 1 億 2,400 万ユーロ) に牽引され、7.8%増の 2 億 2,200 万ユーロとなりました。上半期における Plavix® (プラビックス) の売上高は、4.3%増の 9 億 1,200 万ユーロでした。

⁽⁸⁾ その他の成長基盤に属さない最近の製品発売を含む

第 2 四半期における **Lovenox[®]**の売上高は、新興市場(9.5%増の 1 億 4,800 万ユーロ)に牽引され、0.5%増の 4 億 2,100 万ユーロとなりました。西欧諸国における同製品の売上高は、2.8%増の 2 億 2,200 万ユーロとなりました。上半期における **Lovenox[®]**の売上高は、0.9%増の 8 億 3,700 万ユーロでした。

第 2 四半期における **Aprovel[®]/Avapro[®]**の売上高は、ジェネリック医薬品との競合により西欧諸国での売上高が 44.7%減の 5,200 万ユーロとなったことを受けて、15.5%減の 1 億 9,300 万ユーロとなりました。新興市場における **Aprovel[®]/Avapro[®]**の売上高は、3.7%増の 1 億 600 万ユーロとなりました。上半期における **Aprovel[®]/Avapro[®]**の売上高は、19.2%減の 3 億 7,200 万ユーロとなりました。

第 2 四半期における **Renvela[®]/Renagel[®]**(レナジェル)の売上高は、18.3%減の 1 億 3,700 万ユーロとなりました。米国における同製品の売上高は、**Renvela[®]**錠のオーソライズド・ジェネリック医薬品について、2014 年 4 月以降、米国で限られた割り当て分のボトルを販売するライセンスを供与する **Impax** 社との合意の影響を反映し、19.1%減の 8,800 万ユーロとなりました。具体的な割り当て分は、米国における 2013 年度の **sevelamer**(一般名:セベラマー)売上高全体の 7~10%に相当します。**Renvela[®]/Renagel[®]**(レナジェル)の西欧諸国における売上高は、8.3%減の 3,300 万ユーロ、新興市場における同製品の売上高は、31.6%減の 1,100 万ユーロでした。上半期における **Renvela[®]/Renagel[®]**(レナジェル)の売上高は、6.6%減の 3 億 900 万ユーロでした。

日本でのジェネリック医薬品との競合を反映し、第 2 四半期における処方薬の **Allegra[®]**(アレグラ)の売上高は 46.8%減(カテゴリー変更を除外すると 16.0%減)の 3,900 万ユーロ、**Ambien[®]**製品群の売上高は 15.2%減の 7,300 万ユーロとなりました。上半期における **Allegra[®]**(アレグラ)の売上高は 1 億 1,900 万ユーロ、**Ambien[®]**製品群の売上高は 1 億 5,100 万ユーロでした。

ジェネリック医薬品の侵食を反映し、**Taxotere[®]**(タキソテール)の第 2 四半期の売上高は 36.8%減の 6,700 万ユーロ、上半期の売上高は 32.9%減の 1 億 3,600 万ユーロとなりました。**Eloxatin[®]**の第 2 四半期の売上高は、15.0%減の 4,700 万ユーロ、上半期の売上高は、15.1%減の 9,300 万ユーロでした。

ジェネリック医薬品

第 2 四半期におけるジェネリック医薬品の売上高は、ブラジルでの回復(7,100 万ユーロ)を反映し、4 億 6,600 万ユーロとなりました。第 2 四半期におけるジェネリック医薬品の売上高は、**Lovenox[®]**のオーソライズド・ジェネリック医薬品の売上高減少により、西欧諸国では 5.6%、米国では 24.5%減少しました。新興市場におけるジェネリック医薬品の売上高は、2 億 8,400 万ユーロ(ブラジルのジェネリック医薬品を除くと 7.4%増)となりました。上半期におけるジェネリック医薬品の売上高は、32.0%増の 8 億 8,700 万ユーロでした。

ワクチン

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 第 2 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014 年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチン (Pentacel[®] 、 Pentaxim[®] 、および ImovaxPolio[®] (イモバックスポリオを含む)	284	+2.0%	495	-6.6%
インフルエンザワクチン (Vaxigrip[®] と Fluzone[®] を含む)	59	+18.9%	194	+19.2%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎ワクチン (Menactra[®] (メナクトラ)を含む)	115	-1.6%	171	-10.8%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	103	+11.2%	178	+11.0%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン(Adacel[®] を 含む)	83	-29.8%	164	-17.7%
その他のワクチン	74	+13.0%	144	+8.7%
ワクチン合計 (連結売上高)	718	-0.4%	1,346	-2.2%

第 2 四半期におけるサノフィパストツールの連結売上高は、**Pentacel[®]**の売上が徐々に回復し、インフルエンザワクチン、トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンが好業績を収めるも、ブースターワクチンの売上高減少に相殺され、

0.4%減の 7 億 1,800 万ユーロとなりました。上半期におけるサノフィパスツールの連結売上高は、2.2%減の 13 億 4,600 万ユーロでした。

第 2 四半期におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチンの売上高は、米国での Pentacel[®]が徐々に回復し、新興市場での Pentaxim[®]の好業績に牽引され、段階的な供給調整による不活化ポリオワクチン(IPV)の売上高の減少を相殺し、2.0%増の 2 億 8,400 万ユーロとなりました。上半期におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチンの売上高は、6.6%減の 4 億 9,500 万ユーロでした。

インフルエンザワクチンの売上高は、新興市場のうち南半球での記録的な売上高の計上により、18.9%増の 5,900 万ユーロとなりました。上半期におけるインフルエンザワクチンの売上高は、19.2%増の 1 億 9,400 万ユーロでした。サノフィパスツールは、2014 年 7 月 22 日に米国での季節性インフルエンザワクチンの出荷を開始し、2014~2015 年のシーズン中、複数の年齢層をインフルエンザから守るのに役立つワクチンを 6,500 万回接種分以上、販売する計画です。

第 2 四半期における Menactra[®](メナクトラ)の売上高は、米国の好業績(23.4%増)に牽引されるも、サウジアラビアでの売上高減少により部分的に相殺され、11.0%増の 1 億 500 万ユーロとなりました。Menactra[®](メナクトラ)の上半期売上高は、3.0%減の 1 億 5,300 万ユーロでした。

第 2 四半期におけるトラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンの売上高は、Typhim Vi[®]ワクチンと黄熱ワクチンの売上高増を受けて、11.2%増の 1 億 300 万ユーロとなりました。上半期におけるトラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンの売上高は、11.0%増の 1 億 7,800 万ユーロでした。

成人用ブースターワクチンの第 2 四半期の売上高は、米国での供給制限の影響が続いたことを受け、29.8%減の 8,300 万ユーロとなりました。上半期における成人用ブースターワクチンの売上高は、17.7%減の 1 億 6,400 万ユーロでした。

欧州におけるメルク社とのジョイントベンチャーであるサノフィパスツール MSD(サノフィに非連結)の第 2 四半期の売上高は、ブースターワクチンと Gardasil[®]の売上高の減少を反映し、前年同期比(調整前)3.1%減の 1 億 5,500 万ユーロとなりました。上半期におけるサノフィパスツール MSD の売上高は、前年同期比(調整前)6.1%減の 3 億 1,300 万ユーロとなりました。

動物用医薬品

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 第 2 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014 年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
コンパニオンアニマル	345	+10.8%	689	+3.0%
産業動物	192	-1.0%	365	+0.8%
動物用医薬品合計	537	+6.2%	1,054	+2.2%
–フィプロニル製品	169	+4.2%	340	-2.5%
–NexGard [™] (ネクスガード)	35	-	58	-
–アベルメクチン製品	98	0.0%	212	-8.6%
–ワクチン	180	-3.6%	334	-2.5%

第 2 四半期における動物用医薬品の売上高は、NexGard[™](ネクスガード)の発売に牽引され、6.2%増の 5 億 3,700 万ユーロとなりました。米国における動物用医薬品の売上高は、堅調に成長しました(14.0%増の 2 億 3,200 万ユーロ)。上半期における動物用医薬品の売上高は、2.2%増の 10 億 5,400 万ユーロでした。

第 2 四半期におけるコンパニオンアニマル・セグメントの売上高は、NexGard[™](ネクスガード)の順調な発売と寄生虫駆除薬の Frontline[®](フロントライン)/フィプロニル製品群の回復を反映し、10.8%増の 3 億 4,500 万ユーロとなりました。メリアルは、新世代のノミ・マダニ駆除薬である犬用 NexGard[™](ネクスガード)を第 1 四半期に米国で発売し、上半期に欧州の数カ国で発売しました。第 2 四半期における NexGard[™](ネクスガード)の売上高は 3,500 万ユーロであり、そのうち 3,100 万ユーロが米国で計上されました。上半期におけるコンパニオンアニマル・セグメントの売上高は、3.0%増の 6 億 8,900 万ユーロでした。

産業動物セグメントの第 2 四半期の売上高は 1.0%減の 1 億 9,200 万ユーロ、上半期の売上高は 0.8%増の 3 億 6,500 万ユーロでした。

地域別純売上高

(単位: 100 万ユーロ)	2014 年度 第 2 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014 年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
新興市場^(a)	2,855	+16.5%	5,445	+11.0%
－中南米	884	+55.3%	1,618	+32.3%
－アジア	785	+6.7%	1,519	+5.4%
－東欧、ロシア、およびトルコ	635	+5.4%	1,239	+4.7%
－アフリカ	253	+7.2%	486	-2.4%
－中東	267	-7.0%	520	+0.9%
米国	2,569	+9.4%	4,984	+8.5%
西欧諸国^(b)	1,908	-2.8%	3,906	-1.5%
その他^(c)	743	-11.2%	1,582	-7.4%
－日本	475	-13.5%	1,062	-7.6%
合計	8,075	+6.4%	15,917	+4.9%

(a) 米国、カナダ、西欧諸国、日本、オーストラリア、ニュージーランドを除く各国

(b) フランス、ドイツ、英国、イタリア、スペイン、ギリシャ、キプロス、マルタ、ベルギー、ルクセンブルク、ポルトガル、オランダ、オーストリア、スイス、スウェーデン、アイルランド、フィンランド、ノルウェー、アイスランド、デンマーク

(c) 日本、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド

第 2 四半期における**新興市場**の売上高は、16.5%増の 28 億 5,500 万ユーロとなりました。ブラジルのジェネリック医薬品を除くと、売上高は 8.6%増でした。糖尿病(18.7%増)、ジェンザイム(47.3%増)、および CHC は 2 桁成長を記録しました。中国の売上高は、Plavix[®](プラビックス)、Lantus[®](ランタス)、および Lovenox[®]に牽引され、13.4%増の 4 億 100 万ユーロとなりました。東欧/ロシアおよびトルコの売上高は、トルコの好業績に支えられ、5.4%増となりました。ロシアの売上高は、8.8%増の 2 億 1,500 万ユーロとなりました。中東での売上高は、困難な状況下にあるイラクの売上高減少とサウジアラビアにおける Menactra[®](メナクトラ)の売上高減少を反映し、7.0%減の 2 億 6,700 万ユーロとなりました。ブラジルの売上高は、182.5%増の 3 億 8,700 万ユーロでした(ジェネリック医薬品を除くと、CHC に牽引され、29.0%増)。上半期における新興市場の売上高は、11.0%増の 54 億 4,500 万ユーロとなりました。ブラジルのジェネリック医薬品を除くと、売上高は 6.5%増でした。

第 2 四半期における**米国**の売上高は、糖尿病(20.3%増)、ジェンザイム(27.3%増)、CHC(23.2%増)、および動物用医薬品(14.0%増)に牽引され、9.4%増の 25 億 6,900 万ユーロとなりました。上半期における米国の売上高は、8.5%増の 49 億 8,400 万ユーロでした。

第 2 四半期における**西欧諸国**の売上高は、2.8%減の 19 億 800 万ユーロでした。ジェンザイム(22.9%増)の好業績は、Aprovel[®]のジェネリック医薬品との競合の影響とワクチンの売上高減少により相殺されました。上半期における西欧諸国での売上高は、1.5%減の 39 億 600 万ユーロとなりました。

第 2 四半期における**日本**の売上高は、消費税増税(第 2 四半期に実施)前の駆け込み需要による好業績を計上した第 1 四半期の後、Plavix[®](プラビックス)の売上高が減少したことを反映し、13.5%減の 4 億 7,500 万ユーロとなりました。Allegra[®](アレグラ)、Myslee[®](マイスリー)、および Amaryl[®](アマリール)におけるジェネリック医薬品との競合の影響は、ワクチンの好業績により部分的に相殺されました。上半期における日本の売上高は、7.6%減の 10 億 6,200 万ユーロでした。

研究開発の最新情報

サノフィの研究開発パイプラインの全容については、付録 7 をご参照ください。

薬事関連の最新情報

2014 年 4 月 29 日の 2014 年度第 1 四半期業績発表以降、以下の薬事関連の出来事がありました。

- 7月、現在開発中の基礎インスリンである **Toujeo[®]**の新薬承認申請(NDA)が米国食品医薬品局(FDA)に受理されました。これに先立つ 2014年5月には、EU諸国を対象とした **Toujeo[®]**の販売承認申請が欧州医薬品庁(EMA)に受理されています。7月、厚生労働省(MHLW)に **Toujeo[®]**の新薬承認申請(NDA)を行いました。
- 7月、前立腺がんの治療薬としての **Jevtana[®]**(ジェブタナ)について、日本の厚生労働省(MHLW)より、販売承認を取得しました。
- 6月、ジェンザイムは、ゴーシェ病の経口治療薬である **Cerdelga[™]**(一般名:eliglustat tartrate)について、日本で新薬承認申請を行いました。
- 5月、サノフィパストールの小児用5種混合ワクチンについて、インドのハイデラバードにある関連会社の **Shantha Biotechnics**社が開発・製造した **Shan5[™]**が世界保健機関(WHO)の事前認定資格を取得しました。
- 5月、再発性多発性硬化症の治療薬としての **Lemtrada[™]**(一般名:alemtuzumab)の承認を求めるジェンザイムの生物学的製剤追加承認申請(sBLA)の再提出が、FDAに受理されました。**Lemtrada[™]**のsBLAには、6カ月間の審査期間が割り当てられました。ジェンザイムは、sBLAに関するFDAの措置が第4四半期に講じられるものと期待しています。

2014年7月末時点の研究開発パイプラインは、臨床開発段階にあるワクチンの候補を含む46のプロジェクト(ライフサイクルマネジメントを除く)から構成され、そのうち12は第III相あるいは保健当局に承認申請を行っている段階にあります。

ポर्टフォリオの最新情報

第III相:

- 2014年7月30日、サノフィとRegeneron社は、高コレステロール血症患者を対象とした **alirocumab**の9件の新しい第III相 **ODYSSEY**試験にて、24週目の時点で低比重リポタンパクコレステロール(LDL-C)のベースラインからの低下率がプラセボまたは実薬対照を上回るという主要有効性評価項目が達成されたことを発表しました。**alirocumab**は、PCSK9をターゲットとする現在開発中のモノクローナル抗体です。9件の **ODYSSEY**試験において、24週目の時点で認められた **LDL-C**のベースラインからの低下率の平均値は、**alirocumab**の過去の試験で見られたものと一致していました。
- 7月、**デング熱ワクチン**では、アジア5カ国で実施した初の画期的な第III相有効性試験の詳細な結果が、ランセット誌に掲載されました。この結果から、2~14歳までの小児において、3回の投与スケジュールの後、症候性デング熱に対して56.5%の総合的な有効性が得られたことが示されました。重要なことは、試験結果の解析から、WHO基準によるデング熱の重症例であるデング出血熱の88.5%減少が示されたことです。また、試験期間中において、デング熱による入院リスクに臨床的に重要な67.2%の減少が認められたことも明らかになりました。
- 6月、2型糖尿病患者を対象とした **EDITION I**試験、**II**試験、および **III**試験のプール解析結果が第74回米国糖尿病学会(ADA)の学術会議で発表されました。プール解析では、**Toujeo[®]**によって、**Lantus[®]**(ランタス)と同等の血糖コントロールが達成されることが明らかになりました。さらに、**Toujeo[®]**は、**Lantus[®]**(ランタス)と比較して、夜間を含む1日のすべての時間帯で低血糖症イベントが有意に減少しました。また、**Toujeo[®]**投与群では、最初8週間の用量漸増期間(インスリン療法でしばしば低血糖症が増加する期間)に、1日の時間帯を問わず、低血糖の顕著かつ有意な減少が認められました。6月のADAでは、**EDITION I**試験と**EDITION II**試験のサブグループ試験も発表されました。この結果から、患者が **Toujeo[®]**の投与スケジュールを毎週少なくとも2回、 ± 3 時間まで変更できる場合と、固定用量を24時間ごとに投与し続ける場合で、低血糖イベントと有害事象は同等であることが明らかになりました。**EDITION I**試験、**EDITION II**試験、および**EDITION III**試験は、1型糖尿病および2型糖尿病の幅広く多様な患者群を対象とし、**Toujeo[®]**の有効性と安全性を評価する一連の広範かつ世界的な第III相試験から構成される**EDITION**プログラムの一部です。以前に発表された**EDITION I**試験および**EDITION II**試験の完全な結果と、2014年ADA会議で発表された**EDITION III**試験の完全な結果により、2型糖尿病を対象として実施された国際的試験は、日本で実施された**EDITION JP II**試験を含め、すべての主要試験期間についての報告が行われたこととなります。
1型糖尿病を対象として実施されたすべての**EDITION**試験(**EDITION IV**試験および**EDITION JP-II**試験)も、主要試験期間についての報告がすべて行われました。

- 6月、現在開発中の **sarilumab**(Regeneron社と共同開発中)の評価を行うメトトレキサートによる治療で効果不十分な関節リウマチ(RA)患者を対象とした第III相試験である **SARIL-RA-MOBILITY**試験の詳細な結果が、欧

州リウマチ学会 (EULAR 2014) 年次会議で発表されました。会議で発表された新たなデータにより、sarilumab を使用すると、少なくとも連続 24 週間にわたる ACR70 の達成で定義された主要な臨床奏効率が改善し、試験の副次的評価項目である関節リウマチの徴候と症状の改善が 52 週後も維持されることが明らかになりました。以前に発表されたとおり、sarilumab は、24 週目の時点における疾病の徴候と症状の改善、16 週目の時点における身体機能の改善、および 52 週目の時点における関節損傷の進行抑制というこの試験の 3 つの主要評価項目をすべて達成しました。

- 4 月、Lemtrada™ の臨床開発プログラムから得られた新しい磁気共鳴画像 (MRI) データが第 66 回米国神経学会 (AAN) 年次会議で発表されました。2 件の第 III 相臨床試験における Lemtrada™ 投与群 (未治療患者および他の治療で疾病進行が見られた患者の両方) では、2 年後に観察された MRI 効果が延長試験の 1 年目に維持されていました。

第 II 相:

- 7 月、重篤で慢性の湿疹である中等度から重度までのアトピー性皮膚炎の成人患者を対象として、Regeneron 社と共同開発中の IL-4 および IL-13 のシグナルを阻害するモノクローナル抗体である dupilumab を評価する第 IIb 相用量設定試験から、肯定的な結果が発表されました。dupilumab は、どの用量でも、プラセボと比較して湿疹面積・重症度指数 (EASI) の大幅改善という主要評価項目を達成しました。さらに 7 月、中等度から重度までのアトピー性皮膚炎患者を対象とする 4 件の初期臨床試験が、ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディスン誌 (NEJM) に掲載されました。年内に、第 III 相試験が開始される予定です。
- 抗 CD38 モノクローナル抗体である SAR650984 が多発性骨髄腫の単剤療法として第 II 相に入りました。SAR650984 は、ヒト CD38 受容体の特異エピトープに結合するヒト化 IgG1 モノクローナル抗体です。
- 6 月、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に関する第 II 相 STARLYTE 試験から、SAR3419 に関する肯定的な臨床結果が米国臨床腫瘍学会 (ASCO) で発表されました。SAR3419 は、ImmunoGen 社によって開発されたメイタンシン搭載抗 CD19 モノクローナル抗体であり、サノフィが同社との幅広い提携の一環としてライセンスを受けています。
- 6 月、サノフィは、MM-121 (SAR256212) の権利を返還することで Merrimack Pharmaceuticals 社と相互に合意しました。
- サノフィは、全身性硬化症における SAR100842 の開発を追求しないことを決定しました。

第 I 相:

- 糖尿病における二重グルカゴン様ペプチド-1/グルカゴン受容体作動薬 (GLP-1/GCGR 作動薬) である SAR425899 が、第 I 相に入りました。
- サノフィは、固形腫瘍において Regeneron 社と共同開発中の抗 DLL4 モノクローナル抗体である SAR 153192 から撤退しました。
- サノフィパストールと KaloBios 社は、緑膿菌を標的にしたモノクローナル抗体である KB001-A の開発に関するライセンスおよび提携契約を終了させることを交渉・合意し、終了契約は即時発効しました。この結果、KaloBios 社は同製品の世界中での権利をすべての適応について取り戻すこととなります。

新規提携:

- 6 月、サノフィとメドトロニック社は、世界中の患者さんの体験とアウトカムを改善することを目的とし、糖尿病領域で世界的な戦略的提携契約を締結する覚書に署名しました。この提携では、当初、薬剤と医療機器の併用療法の開発、そして治療遵守の改善・インスリン療法の簡素化・糖尿病患者さんの疾病管理サポートを目的としたケア管理サービスの提供という 2 つの優先事項に重点的に取り組みます。提携の実施は、両社間で交渉が行われ、正式契約が締結されることが条件となります。
- 5 月、サノフィとイーライリリー社は、非処方薬の Cialis® (一般名: tadalafil) の薬事承認を追求する契約を締結したことを発表しました。Cialis® は現在、処方薬として、勃起不全男性の治療用に世界的に提供されています。契約条件に基づき、サノフィは、米国、欧州、カナダ、オーストラリアで Cialis® OTC の承認申請を行う独占的権利を取

得します。またサノフィは、すべての必要な薬事承認を取得した後、Cialis® OTC を販売する独占的権利を保有します。承認された場合、サノフィは、一定の特許満了後に Cialis® OTC を提供する予定です。

2014 年度第 2 四半期および上半期の業績

事業純利益⁽¹⁾

第 2 四半期におけるサノフィの純売上高は、前年同期比(調整前)で 0.9%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 6.4%増)の 80 億 7,500 万ユーロとなりました。上半期における売上高は、前年同期比(調整前)0.9%減(為替レート変動の影響を排除した場合は 4.9%増)の 159 億 1,700 万ユーロとなりました。

その他収益は、米国における Enbrel®のロイヤリティが終了したことの影響を受け、第 2 四半期は 14.5%減の 7,100 万ユーロ、上半期は 14.9%減の 1 億 5,400 万ユーロとなりました。

第 2 四半期における売上総利益は、2.3%増の 55 億 3,800 万ユーロでした(為替レート変動の影響を排除した場合は 8.2%増)。純売上高に対する売上原価の比率(CoS 率)は、前年同期比 1.1 ポイント増の 32.3%となりました。これは、ブラジルのジェネリック医薬品の回復とジェンザイムの利幅拡大によって、ワクチンと動物用医薬品の製品構成における軽度のマイナスの影響と、為替レート変動のマイナスの影響がおおむね相殺されたことを反映したものです。上半期における売上総利益は、0.7%減(為替レート変動の影響を排除した場合は 5.5%増)の 109 億 4,700 万ユーロとなりました。上半期の純売上高に占める売上原価の比率は、前年同期比 0.3 ポイント増の 32.2%となりました。

第 2 四半期における研究開発費は、前年同期並の 11 億 8,800 万ユーロとなりました。3 件の大規模モノクローナル抗体(alirocumab、sarilumab、dupilumab)開発プログラムへの投資拡大によって社内のコスト削減が相殺されたことを反映し、為替レート変動の影響を排除した場合、研究開発費は 3.2%増となりました。上半期における研究開発費は、0.6%減(為替レート変動の影響を排除した場合は 2.2%増)の 23 億 2,700 万ユーロとなりました。上半期の純売上高に占める研究開発費の割合は、前年同期並の 14.6%となりました。

第 2 四半期における販売費および一般管理費は、2.2%減の 22 億 5,500 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、販売費および一般管理費は、製品発売(NexGard™(ネクサガード)、Nasacort® OTC、およびジェンザイムの多発性硬化症フランチャイズ)への投資によってセールスおよびマーケティング費が若干増加したことを反映し、2.6%増となりました。純売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、前年同期比で 0.9 ポイント減少し、27.9%となりました。上半期の販売費および一般管理費は、2.5%減(為替レート変動の影響を排除した場合は 2.5%増)の 43 億 3,300 万ユーロとなりました。2014 年度上半期の純売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、前年同期比で 0.5 ポイント減少し、27.2%となりました。

第 2 四半期におけるその他の当期営業収益(費用控除後)は、米国における残りの製品の権利を Covis Pharmaceuticals 社に売却したことに関連したキャピタルゲイン(1 億 6,500 万ユーロ)が含まれていた前年同期の 1 億 4,100 万ユーロに対し、5,400 万ユーロとなりました。2014 年度第 2 四半期のこの項目には、Eligard®の米国の権利を Tolmar Pharmaceuticals 社に返還したことに関連した支払い(6,200 万ユーロ)が含まれています。

第 2 四半期における関連会社持分利益は、前年同期の 300 万ユーロに対し、2,600 万ユーロとなりました。4 月以降の持分法に基づき計上された Regeneron 社の利益に占める当社の持分が含まれています。

非支配株主に帰属する純利益は、前年同期の 4,500 万ユーロの損失に対し、3,000 万ユーロの損失となりました。

第 2 四半期における事業営業利益は、6.0%増の 21 億 4,500 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、事業営業利益は 15.0%増でした。純売上高に占める事業営業利益の割合は、1.3 ポイント増加し、26.6%となりました。上半期における事業営業利益は、1.3%減(為替レート変動の影響を排除した場合は 7.3%増)の 42 億 9,000 万ユーロとなりました。上半期における純売上高に占める事業営業利益の割合は、前年同期の 27.1%に対し、27.0%となりました。

第 2 四半期における純財務費用は、前年同期の 1 億 3,700 万ユーロに対し、9,400 万ユーロであり、これには金融投資の売却に関連する 3,100 万ユーロ(税引前)のキャピタルゲインが含まれています。

第 2 四半期および上半期の実効税率は、前年同期の 21.2%に対し、25%でした。

⁽¹⁾ 財務指標の定義については付録 10、事業純利益から当社株主に帰属する連結純利益への調整については付録 3 を参照

第2四半期における**事業純利益⁽¹⁾**は、3.9%増の15億3,700万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合は、13.0%増でした。純売上高に占める事業純利益の割合は、前年同期比0.5ポイント増の19.0%となりました。上半期における事業純利益は、0.2%増(為替レート変動の影響を排除した場合は9.2%増)の30億8,400万ユーロとなりました。上半期の純売上高に占める事業営業利益の割合は、前年同期比0.2ポイント減の19.4%となりました。

2014年度第2四半期の**1株当たり事業利益⁽¹⁾(EPS)**は、調整前では4.5%増、為替レート変動の影響を排除した場合は13.4%増の1.17ユーロとなりました。2014年度第2四半期の期中平均発行済み株式数は、前年同期の13億2,570万株に対し、13億1,450万株となりました。2014年度上半期の**1株当たり事業利益⁽¹⁾(EPS)**は、調整前では0.9%増、為替レート変動の影響を排除した場合は9.9%増の2.34ユーロとなりました。2014年度上半期の期中平均発行済み株式数は、前年同期の13億2,390万株から13億1,720万株となりました。

事業純利益から連結純利益への調整(付録3を参照)

2014年度上半期の事業純利益と当社株主に帰属する連結純利益間の主な調整項目は、以下のとおりです。

- 買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの5億700万ユーロ、ジェンザイムの4億2,000万ユーロ、ミアルの1億9,400万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:4,300万ユーロ)に関連した償却費は、13億100万ユーロでした。2014年度第2四半期には、買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの2億5,000万ユーロ、ジェンザイムの1億8,600万ユーロ、ミアルの9,700万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:2,300万ユーロ)に関連した償却費、6億2,400万ユーロを計上しました。これらの項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- 無形固定資産に対する減損損失、7,400万ユーロ(このうち2014年度第2四半期の7,100万ユーロは、主にRetinoStatと緑膿菌ワクチンに関連するものです)。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- CVRに関連した偶発対価の公正価値の上昇(2,800万ユーロ。このうち3,300万ユーロが2014年度第2四半期に計上)およびLemtrada™に関連したバイエル社の偶発対価の公正価値の上昇(1億400万ユーロ。このうち9,200万ユーロが2014年度第2四半期に計上)を反映した1億3,200万ユーロの損失。
- 1億3,500万ユーロの事業再編費用(欧州の継続的な変革に関連する第2四半期の8,400万ユーロを含む)。
- Alnylam社株式の評価益、3,500万ユーロ。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- 上記項目から生じた5億2,200万ユーロの税効果(無形固定資産に対する償却費から生じた4億5,100万ユーロ、事業再編費用に関連した4,400万ユーロ、および無形固定資産の減損損失に関連した2,600万ユーロから構成される)。第2四半期の税効果は2億7,400万ユーロでした(無形固定資産に対する償却費から生じた2億700万ユーロの繰延税金、事業再編費用に関連した2,900万ユーロ、および無形固定資産に対する減損損失に関連した2,500万ユーロを含む)(付録3を参照)。
- サノフィ株主に支払った配当に対する1億1,000万ユーロの税金
- 「関連会社持分利益」に含まれる、主に無形固定資産の償却に関連した3,200万ユーロの費用(税控除後)(このうち2,400万ユーロが2014年度第2四半期に計上)。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。

資本配分

運転資本(5億5,200万ユーロ)と資本支出(5億2,900万ユーロ)の増加を考慮し、事業再編費用を除いた2014年度上半期における営業活動からの純キャッシュは、33.1%増の23億9,000万ユーロとなりました。それを新株発行による収益(2億4,000万ユーロ)によって部分的に相殺された株式の買い戻し(10億1,000万ユーロ)、サノフィが支払った配当

⁽¹⁾ 財務指標の定義については付録10、事業純利益から当社株主に帰属する連結純利益への調整については付録3を参照

(36億7,600万ユーロ)、買収・提携(売却を控除)(Regeneron社に関連した10億5,000万ユーロとAlnylam社に関連した5億3,000万ユーロを含む16億800万ユーロ)、および事業再編費用(3億8,200万ユーロ)のための財源に充当しました。その結果、純負債は、2013年12月31日時点の60億4,300万ユーロから2014年6月30日時点の101億9,400万ユーロ(43億600万ユーロの現金および現金等価物を控除)へと増加しました。

サノフィは、2014年初めより、Regeneron社の持ち株比率を引き上げるために14億4,500万ユーロを投資しています。その結果、サノフィは7月15日付でRegeneron社株式の22.01%を所有しています(Regeneron社が前回提出した10-Qに記載されている発行済み株式数に基づく)。

付録

付録一覧

付録1: 2014年度第2四半期および2014年度上半期の地域別・製品別連結純売上高

付録2: 2014年度第2四半期および2014年度上半期の事業純利益計算書

付録3: 事業純利益から当社株主に帰属する純利益への調整

付録4: 2014年度第2四半期および2014年度上半期の連結損益計算書

付録5: 純負債の変動

付録6: 簡易連結貸借対照表

付録7: 2014年の為替感度

付録8: 研究開発パイプライン

付録9: 2014年度下半期/2015年度上半期に見込まれる研究開発マイルストーン

付録10: 定義

付録 1: 2014 年度第 2 四半期および 2014 年度上半期の地域別・製品別連結純売上高

2014 年度第 2 四半期純売上高 (単位: 100 万ユーロ)	合計	前年度比 (CER)	前年度比 (調整前)	西欧諸国	前年度比 (CER)	米国	前年度比 (CER)	新興市場	前年度比 (CER)	その他	前年度比 (CER)
Lantus (ランタス)	1,557	16.3%	10.5%	213	4.4%	1,035	20.3%	243	16.1%	66	0.0%
Apidra (アピドラ)	77	19.1%	13.2%	24	14.3%	27	21.7%	18	31.3%	8	0.0%
Amaryl (アマリール)	96	4.0%	-3.0%	4	-33.3%	1	0.0%	77	16.9%	14	-28.6%
Insuman	33	6.3%	3.1%	19	-17.4%	1	0.0%	12	75.0%	1	-
Lyxumia (リクスミア)	6	500.0%	500.0%	4	300.0%	0	-	1	-	1	-
糖尿病	1,788	16.2%	10.3%	279	4.5%	1,064	20.3%	351	18.7%	94	1.0%
Taxotere (タキソテール)	67	-36.8%	-41.2%	4	-33.3%	2	-89.5%	36	-27.8%	25	-22.9%
Jevtana (*) (ジェブタナ)	66	25.9%	22.2%	34	36.0%	22	9.1%	10	57.1%	0	-
Eloxatine	47	-15.0%	-21.7%	1	0.0%	0	-100.0%	29	0.0%	17	-9.5%
Thymoglobulin (サイモグロブリン)	54	9.6%	3.8%	8	14.3%	27	7.7%	17	28.6%	2	-40.0%
Mozobil (*)	26	4.0%	4.0%	8	0.0%	14	7.1%	3	50.0%	1	-100.0%
Zaltrap (*)	15	14.3%	7.1%	9	166.7%	6	-40.0%	1	0.0%		-
その他のオンコロジー製品	61	-1.6%	-4.7%	13	8.3%	33	-5.4%	8	42.9%	7	-37.5%
オンコロジー	336	-7.8%	-12.3%	77	22.6%	104	-18.5%	104	-2.6%	51	-22.9%
Aubagio	97	209.1%	193.9%	21	-	72	130.3%	2	-	2	-
Lemtrada	6	-	-	5	-	0	-	0	-	1	-
Cerezyme (セラゼイム)	175	9.9%	2.3%	60	7.1%	45	6.7%	59	19.3%	11	-7.7%
Myozyme (マイオゼイム)	133	10.3%	5.6%	67	-2.9%	33	13.3%	26	40.0%	7	42.9%
Fabrazyme (ファブラゼイム)	123	44.0%	35.2%	28	33.3%	55	16.0%	27	275.0%	13	25.0%
Aldurazyme (アウドラゼイム)	45	17.1%	9.8%	16	0.0%	9	14.3%	17	18.8%	3	100.0%
その他の希少疾患製品	64	1.6%	1.6%	12	33.3%	21	-20.7%	13	66.7%	18	-12.5%
ジェンゼイム	643	29.1%	22.5%	209	22.9%	235	27.3%	144	47.3%	55	17.6%
Plavix (プラビックス)	425	-8.3%	-13.8%	54	-21.7%	1 ⁽¹⁾	-80.0%	222	7.8%	148	-19.5%
Lovenox	421	0.5%	-3.4%	222	2.8%	29	-35.4%	148	9.5%	22	-4.0%
Aprovel	193	-15.5%	-18.9%	52	-44.7%	5	66.7%	106	3.7%	30	-3.0%
Renagel (レナジェル) および Renvela	137	-18.3%	-21.7%	33	-8.3%	88	-19.1%	11	-31.6%	5	-20.0%
Allegra (アレグラ)	39	-46.8%	-50.6%	3	-25.0%	0	-	2	-93.5%	34	-15.9%
Stilnox (マイスリー)	73	-15.2%	-20.7%	10	0.0%	18	-10.0%	16	14.3%	29	-29.2%
Depakine	99	1.0%	-3.9%	34	0.0%	0	-	61	3.1%	4	-25.0%
Synvisc (サイビスク) / Synvisc One	93	-6.7%	-11.4%	8	14.3%	74	-6.1%	9	11.1%	2	-57.1%
Tritace	75	-2.5%	-6.3%	33	-5.7%	0	-	40	0.0%	2	0.0%
Multaq (*)	66	0.0%	-4.3%	12	9.1%	52	-3.5%	2	50.0%	0	0.0%
Lasix (ラシックス)	45	11.6%	4.7%	20	5.3%	0	-	13	15.4%	12	18.2%
Targocid (タゴシッド)	38	-13.3%	-15.6%	21	-4.8%	0	-	16	-19.0%	1	-33.3%
Orudis	48	36.8%	26.3%	5	-28.6%	0	-	42	53.3%	1	0.0%
Cardarone (アンカロン)	33	-2.7%	-10.8%	6	-14.3%	0	-	18	0.0%	9	0.0%
Xatral	23	-4.0%	-8.0%	9	-10.0%	0	-	13	-6.7%	1	-
Actonel	20	-8.3%	-16.7%	5	-20.0%	0	-	10	10.0%	5	-22.2%
Auvi-Q / Allerject (*)	16	54.5%	45.5%	0	-100.0%	13	55.6%	0	-	3	200.0%
その他の処方薬	927	-8.7%	-12.8%	367	-7.8%	99	-15.0%	371	-4.1%	90	-20.5%
その他の処方薬計	2,771	-7.7%	-12.2%	894	-9.3%	379	-13.7%	1,100	0.3%	398	-17.4%
コンシューマー・ヘルスケア	816	20.2%	11.9%	161	0.0%	177	23.2%	434	36.4%	44	-25.0%
ジェネリック医薬品	466	65.7%	55.3%	136	-5.6%	38	-24.5%	284	229.5%	8	0.0%
医薬品	6,820	7.2%	1.6%	1,756	-2.0%	1,997	9.1%	2,417	21.0%	650	-13.8%
ボリオ・百日咳ワクチン	284	2.0%	-3.1%	6	-45.5%	90	14.8%	149	-5.4%	39	22.9%
インフルエンザワクチン	59	18.9%	11.3%	1	0.0%	0	-100.0%	55	9.3%	3	0.0%
髄膜炎菌髄膜炎・肺炎ワクチン	115	-1.6%	-6.5%	0	-100.0%	93	21.5%	22	-39.0%	0	-100.0%
成人用ブースター (追加接種) ワクチン	83	-29.8%	-33.1%	8	-64.0%	59	-26.2%	12	0.0%	4	50.0%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	103	11.2%	5.1%	8	166.7%	31	28.0%	53	0.0%	11	-6.7%
その他のワクチン	74	13.0%	7.2%	-1	-	67	10.8%	4	0.0%	4	400.0%
ワクチン	718	-0.4%	-5.5%	22	-47.6%	340	7.9%	295	-6.0%	61	19.3%
フィプロニル製品	169	4.2%	0.6%	50	2.0%	89	5.7%	24	8.0%	6	-16.7%
Nexgard (ネクスガード)	35	-	-	3	-	31	-	0	-	1	-
ワクチン	180	-3.6%	-8.6%	46	-4.2%	38	-7.0%	91	-3.0%	5	20.0%
アベルメクテン	98	0.0%	-4.9%	12	-8.3%	57	3.4%	13	-12.5%	16	5.9%
Others	55	-8.2%	-9.8%	19	-5.0%	17	-32.0%	15	41.7%	4	-25.0%
動物用医薬品	537	6.2%	1.5%	130	0.0%	232	14.0%	143	1.3%	32	3.1%
グループ合計	8,075	6.4%	0.9%	1,908	-2.8%	2,569	9.4%	2,855	16.5%	743	-11.2%

(1) BMS 社が管理する米国法人に対する有効成分の販売

2014年度上半期純売上高 (単位:100万ユーロ)	合計	前年度比 (CER)	前年度比 (調整前)	西欧諸国	前年度比 (CER)	米国	前年度比 (CER)	新興市場	前年度比 (CER)	その他	前年度比 (CER)
Lantus(ランタス)	3,005	14.9%	9.4%	421	5.0%	1,986	17.5%	468	17.0%	130	4.3%
Apidra(アピドラ)	152	19.4%	13.4%	47	17.5%	55	16.3%	35	30.0%	15	13.3%
Amaryl(アマリール)	182	2.1%	-5.7%	10	-16.7%	1	0.0%	142	11.6%	29	-23.8%
Insuman	65	4.6%	0.0%	40	-11.1%	1	0.0%	24	42.1%	0	-
Lyxumia(リクスマア)	11	1000.0%	1000.0%	7	600.0%	0	-	1	-	3	-
糖尿病	3,450	14.7%	9.1%	554	6.4%	2,043	17.4%	671	17.5%	182	3.5%
Taxotere(タキソテール)	136	-32.9%	-38.7%	8	-42.9%	5	-83.3%	75	-25.5%	48	-20.6%
Jevtana(*) (ジェブタナ)	132	28.3%	24.5%	72	46.9%	42	4.8%	17	35.7%	1	0.0%
Eloxatine	93	-15.1%	-21.8%	2	-33.3%	1	-93.3%	59	-3.1%	31	-2.8%
Thymoglobulin(サイモグロブリン)	106	15.6%	10.4%	16	6.7%	50	4.0%	35	54.2%	5	-14.3%
Mozobil(*)	51	2.0%	0.0%	16	0.0%	27	0.0%	6	20.0%	2	0.0%
Zaltrap(*)	31	28.0%	24.0%	16	275.0%	14	-30.0%	2	100.0%		-
その他のオンコロジー製品	131	8.8%	4.8%	29	3.6%	78	12.5%	15	13.3%	9	-10.0%
オンコロジー	680	-3.6%	-8.6%	159	22.5%	217	-12.5%	209	-3.4%	95	-12.9%
Aubagio	175	245.3%	230.2%	38	-	131	158.5%	3	-	3	-
Lemtrada	11	-	-	10	-	0	-	0	-	1	-
Cerezyme(セラゼイム)	343	7.9%	0.3%	119	5.3%	90	6.8%	115	14.5%	19	-8.3%
Myozyme(マイオザイム)	254	9.1%	5.0%	130	-4.4%	64	11.7%	46	50.0%	14	30.8%
Fabrazyme(ファブラザイム)	221	28.4%	20.8%	53	29.3%	106	14.4%	36	70.8%	26	42.9%
Aldurazyme(アウドラザイム)	86	16.7%	10.3%	32	3.3%	16	14.3%	31	29.6%	7	28.6%
その他の希少疾患製品	119	3.3%	-0.8%	21	10.0%	40	-16.0%	25	50.0%	33	3.1%
ジェンザイム	1,209	25.4%	18.8%	403	18.9%	447	29.0%	256	32.7%	103	18.6%
Plavix(プラビックス)	912	4.3%	-3.3%	116	-13.4%	1 ⁽¹⁾	-80.0%	426	6.1%	369	9.8%
Lovenox	837	0.9%	-3.1%	451	5.1%	61	-34.0%	283	6.9%	42	-2.1%
Aprovel	372	-19.2%	-22.3%	106	-45.1%	9	50.0%	201	1.4%	56	-15.9%
Renagel(レナジェル)および Renvela	309	-6.6%	-10.7%	65	-4.4%	202	-10.6%	33	18.8%	9	-10.0%
Allegra(アレグラ)	119	-46.4%	-52.0%	6	0.0%	0	-	3	-95.0%	110	-31.9%
Stilnox(マイスリー)	151	-15.0%	-21.8%	21	0.0%	34	-10.3%	32	0.0%	64	-25.3%
Depakine	191	-3.3%	-8.6%	67	0.0%	0	-	117	-5.2%	7	0.0%
Synvisc(サイビスク)/ Synvisc One	163	-6.0%	-10.4%	14	16.7%	127	-9.0%	17	26.7%	5	-40.0%
Tritace	143	-5.7%	-9.5%	65	-5.8%	0	-	74	-3.6%	4	-40.0%
Multaq(*)	139	9.9%	6.1%	22	4.8%	112	10.4%	4	25.0%	1	-
Lasix(ランシックス)	81	3.6%	-2.4%	40	8.1%	1	0.0%	25	16.0%	15	-20.0%
Targocid(タゴシッド)	75	-11.4%	-14.8%	41	-7.0%	0	-	31	-12.8%	3	-33.3%
Orudis	83	26.0%	13.7%	10	-23.1%	0	-	71	37.9%	2	0.0%
Cordarone(アンカロン)	65	-1.4%	-9.7%	12	-7.7%	0	-	36	2.6%	17	-5.0%
Xatral	47	-3.9%	-7.8%	19	0.0%	0	-100.0%	27	3.4%	1	-100.0%
Actonel	41	-13.5%	-21.2%	9	-18.2%	0	-	21	-8.0%	11	-18.8%
Auvi-Q / Allerject(*)	26	42.1%	36.8%	1	-50.0%	21	46.7%	0	-	4	100.0%
その他の処方薬	1,836	-9.8%	-14.3%	774	-7.1%	197	-19.1%	691	-7.6%	174	-16.8%
その他の処方薬計	5,590	-6.7%	-11.7%	1,839	-7.7%	765	-12.0%	2,092	-2.1%	894	-10.2%
コンシューマー・ヘルスケア	1,701	19.4%	10.5%	361	0.0%	378	20.4%	869	35.6%	93	-19.1%
ジェネリック医薬品	887	32.0%	22.7%	275	-2.8%	66	-35.5%	528	84.7%	18	40.0%
医薬品	13,517	5.9%	0.0%	3,591	-1.0%	3,916	8.2%	4,625	14.7%	1,385	-7.4%
ボリオ・百日咳ワクチン	495	-6.6%	-12.1%	12	-29.4%	166	40.7%	241	-18.3%	76	-22.5%
インフルエンザワクチン	194	19.2%	12.8%	1	0.0%	21	110.0%	160	14.3%	12	7.1%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎ワクチン	171	-10.8%	-15.8%	0	-100.0%	131	12.4%	37	-46.1%	3	33.3%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン	164	-17.7%	-21.5%	16	-56.4%	123	-9.2%	19	-4.8%	6	-14.3%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	178	11.0%	3.5%	13	62.5%	46	20.0%	94	3.1%	25	11.1%
その他のワクチン	144	8.7%	4.3%	1	-	132	8.6%	5	0.0%	6	25.0%
ワクチン	1,346	-2.2%	-7.6%	43	-36.8%	619	14.5%	556	-10.5%	128	-12.0%
フィボロニル製品	340	-2.5%	-6.6%	112	0.0%	164	-9.0%	46	10.6%	18	17.6%
Nexgard(ネクスガード)	58	-	-	4	-	53	-	0	-	1	-
ワクチン	334	-2.5%	-7.5%	88	-3.3%	72	-1.3%	166	-3.2%	8	11.1%
アベルメクテン	212	-8.6%	-13.5%	28	-3.6%	124	-12.8%	25	0.0%	35	-2.5%
Others	110	1.8%	-2.7%	40	0.0%	36	-9.8%	27	34.8%	7	-25.0%
動物用医薬品	1,054	2.2%	-2.7%	272	0.0%	449	3.3%	264	2.5%	69	2.7%
グループ合計	15,917	4.9%	-0.9%	3,906	-1.5%	4,984	8.5%	5,445	11.0%	1,582	-7.4%

(1) BMS社が管理する米国法人に対する有効成分の販売

付録 2: 事業純利益計算書

2014 年度第 2 四半期 (単位: 100 万ユーロ)	グループ合計			医薬品			ワクチン			動物用医薬品			その他	
	Q2 2014	Q2 2013 ⁽¹⁾	前年度比	Q2 2014	Q2 2013 ⁽¹⁾	前年度比	Q2 2014	Q2 2013 ⁽¹⁾	前年度比	Q2 2014	Q2 2013 ⁽¹⁾	前年度比	Q2 2014	Q2 2013 ⁽¹⁾
純売上高	8,075	8,003	0.9%	6,820	6,714	1.6%	718	760	(5.5%)	537	529	1.5%		
その他収益	71	83	(14.5%)	58	72	(19.4%)	7	5	40.0%	6	6	-		
売上原価	(2,608)	(2,670)	(2.3%)	(2,058)	(2,140)	(3.8%)	(350)	(350)	-	(200)	(180)	11.1%		
純売上高に占める割合	(32.3%)	(33.4%)		(30.2%)	(31.9%)		(48.8%)	(46.1%)		(37.2%)	(34.0%)			
売上総利益	5,538	5,416	2.3%	4,820	4,646	3.7%	375	415	(9.6%)	343	355	(3.4%)		
純売上高に占める割合	68.6%	67.7%		70.7%	69.2%		52.2%	54.6%		63.9%	67.1%			
研究開発費	(1,188)	(1,185)	0.3%	(1,030)	(1,018)	1.2%	(123)	(121)	1.7%	(35)	(46)	(23.9%)		
純売上高に占める割合	(14.7%)	(14.8%)		(15.1%)	(15.2%)		(17.1%)	(15.9%)		(6.5%)	(8.7%)			
販売費および一般管理費	(2,255)	(2,306)	(2.2%)	(1,930)	(1,965)	(1.8%)	(142)	(160)	(11.3%)	(183)	(181)	1.1%		
純売上高に占める割合	(27.9%)	(28.8%)		(28.3%)	(29.3%)		(19.8%)	(21.1%)		(34.1%)	(34.2%)			
その他の当期営業損益	54	141		42	100		3	5		11	-		(2)	36
関連会社*および合弁会社持分利益	26	3		25	8		1	(3)		-	(2)		-	-
非支配株主に帰属する純利益	(30)	(45)		(30)	(45)		-	-		-	-		-	-
事業営業利益	2,145	2,024	6.0%	1,897	1,726	9.9%	114	136	(16.2%)	136	126	7.9%	(2)	36
純売上高に占める割合	26.6%	25.3%		27.8%	25.7%		15.9%	17.9%		25.3%	23.8%			
財務収益(費用)	(94)	(137)												
法人税	(514)	(408)												
法人税率**	25.0%	21.2%												
事業純利益	1,537	1,479	3.9%											
純売上高に占める割合	19.0%	18.5%												
1 株当たり事業純利益*** (単位: ユーロ)	1.17	1.12	4.5%											

* 税控除後

** 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基づいて算出

*** 2014 年度第 2 四半期の 13 億 1,450 万株、前年同期の 13 億 2,570 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

(1) IFRIC 21 への移行の影響を含む

2014 年度上半期				グループ合計			医薬品			ワクチン			動物用医薬品			その他	
(単位:100 万ユーロ)	H1 2014	H1 2013 ⁽¹⁾	前年度比	H1 2014	H1 2013 ⁽¹⁾	前年度比	H1 2014	H1 2013 ⁽¹⁾	前年度比	H1 2014	H1 2013 ⁽¹⁾	前年度比	H1 2014	H1 2013 ⁽¹⁾			
純売上高	15,917	16,062	(0.9%)	13,517	13,522	-	1,346	1,457	(7.6%)	1,054	1,083	(2.7%)					
その他収益	154	181	(14.9%)	126	155	(18.7%)	14	12	16.7%	14	14	-					
売上原価	(5,124)	(5,215)	(1.7%)	(4,046)	(4,174)	(3.1%)	(700)	(695)	0.7%	(378)	(346)	9.2%					
純売上高に占める割合	(32.2%)	(32.5%)		(29.9%)	(30.9%)		(52.0%)	(47.7%)		(35.8%)	(32.0%)						
売上総利益	10,947	11,028	(0.7%)	9,597	9,503	1.0%	660	774	(14.7%)	690	751	(8.1%)					
純売上高に占める割合	68.8%	68.7%		71.0%	70.3%		49.0%	53.1%		65.5%	69.3%						
研究開発費	(2,327)	(2,342)	(0.6%)	(2,025)	(2,008)	0.8%	(230)	(249)	(7.6%)	(72)	(85)	(15.3%)					
純売上高に占める割合	(14.6%)	(14.6%)		(15.0%)	(14.8%)		(17.1%)	(17.1%)		(6.8%)	(7.8%)						
販売費および一般管理費	(4,333)	(4,446)	(2.5%)	(3,721)	(3,801)	(2.1%)	(271)	(301)	(10.0%)	(341)	(344)	(0.9%)					
純売上高に占める割合	(27.2%)	(27.7%)		(27.5%)	(28.1%)		(20.1%)	(20.7%)		(32.4%)	(31.8%)						
その他の当期営業損益	29	170		19	130		1	7		17	(1)		(8)	34			
関連会社*および合弁会社持分利益	39	21		33	27		6	(4)		-	(2)		-	-			
非支配株主に帰属する純利益	(65)	(86)		(65)	(86)		-	-		-	-		-	-			
事業営業利益	4,290	4,345	(1.3%)	3,838	3,765	1.9%	166	227	(26.9%)	294	319	(7.8%)	(8)	34			
純売上高に占める割合	27.0%	27.1%		28.4%	27.8%		12.3%	15.6%		27.9%	29.5%						
財務収益(費用)	(170)	(277)															
法人税	(1,036)	(991)															
法人税率**	25.0%	24.0%															
事業純利益	3,084	3,077	0.2%														
純売上高に占める割合	19.4%	19.2%															
1株当たり事業純利益*** (単位:ユーロ)	2.34	2.32	0.9%														

* 税控除後。

** 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基づいて算出。

*** 2014 年度上半期の 13 億 1,720 万株、前年同期の 13 億 2,390 万株という期中平均発行済み株式数に基づく。

(1) IFRIC 21 への移行の影響を含む

付録 3: 事業純利益から当社株主に帰属する純利益への調整

(単位:100 万ユーロ)	Q2 2014	Q2 2013 ⁽⁴⁾	前年度比
事業純利益	1,537	1,479	3.9%
無形固定資産の償却 ⁽¹⁾	(624)	(768)	
無形固定資産の減損	(71)	(430)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(124)	(76)	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	-	(3)	
事業再編費用	(84)	(105)	
上記項目の税効果:	274	469	
無形固定資産の償却	207	231	
無形固定資産の減損	25	180	
偶発対価債務の公正価値での再評価	13	16	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	-	1	
その他の損益および訴訟費用	-	-	
事業再編費用	29	41	
その他の税目 ⁽²⁾	(110)	(109)	
上記の非支配株主に帰属する純利益	3	1	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	(24)	(10)	
当社株主に帰属する純利益	777	448	73.4%
連結 1 株当たり純利益⁽³⁾ (単位:ユーロ)	0.59	0.34	

(1) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2014 年度第 2 四半期は 6 億 100 万ユーロ、前年同期は 7 億 4,000 万ユーロとなった

(2) 当社株主に支払った配当に対する課税

(3) 2014 年度第 2 四半期の 13 億 1,450 万株、前年同期の 13 億 2,570 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

(4) IFRIC 21 への移行の影響

事業純利益から連結純利益への調整については、12 ページを参照

(単位：100万ユーロ)	2014年度 上半期	2013年度 上半期 ⁽⁴⁾	前年度比
事業純利益	3,084	3,077	0.2%
無形固定資産の償却 ⁽¹⁾	(1,301)	(1,543)	
無形固定資産の減損	(74)	(440)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(132)	(117)	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	-	(6)	
事業再編費用	(135)	(159)	
その他の損益および訴訟費用	35	-	
上記項目の税効果：	522	749	
無形固定資産の償却	451	490	
無形固定資産の減損	26	180	
偶発対価債務の公正価値での再評価	14	20	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	-	2	
その他の損益および訴訟費用	(13)	-	
事業再編費用	44	57	
その他の税目 ⁽²⁾	(110)	(109)	
上記の非支配株主に帰属する純利益	4	2	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	(32)	(17)	
当社株主に帰属する純利益	1,861	1,437	29.5%
連結1株当たり純利益⁽³⁾ (単位：ユーロ)	1.41	1.09	

(1) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2014年度上半期は12億5,800万ユーロ、前年同期は14億8,900万ユーロとなった

(2) 当社株主に支払った配当に対する課税

(3) 2014年度上半期の13億1,720万株、前年同期の13億2,390万株という期中平均発行済み株式数に基づく

(4) IFRIC 21への移行の影響を含む

付録 4: 連結損益計算書

(単位: 100 万ユーロ)	2014 年度 第 2 四半期	2013 年度第 2 四半期 ⁽¹⁾	2014 年度 上半期	2013 年度 上半期 ⁽¹⁾
純売上高	8,075	8,003	15,917	16,062
その他収益	71	83	154	181
売上原価	(2,608)	(2,673)	(5,124)	(5,221)
売上総利益	5,538	5,413	10,947	11,022
研究開発費	(1,188)	(1,185)	(2,327)	(2,342)
販売費および一般管理費	(2,255)	(2,306)	(4,333)	(4,446)
その他の当期営業収益	106	276	116	347
その他の当期営業費用	(52)	(135)	(87)	(177)
無形固定資産の償却	(624)	(768)	(1,301)	(1,543)
無形固定資産の減損	(71)	(430)	(74)	(440)
偶発対価債務の公正価値での再評価	(124)	(76)	(132)	(117)
事業再編費用	(84)	(105)	(135)	(159)
営業利益	1,246	684	2,674	2,145
財務費用	(145)	(154)	(292)	(311)
財務収益	51	17	157	34
関連会社および合弁会社持分利益を除く税引前利益	1,152	547	2,539	1,868
法人税 ⁽²⁾	(350)	(48)	(624)	(351)
関連会社および合弁会社持分利益	2	(7)	7	4
純利益	804	492	1,922	1,521
非支配株主に帰属する純利益	27	44	61	84
当社株主に帰属する純利益	777	448	1,861	1,437
期中平均発行済み株式数 (単位: 100 万株)	1,314.5	1,325.7	1,317.2	1,323.9
1 株当たり純利益 (単位: ユーロ)	0.59	0.34	1.41	1.09

(1) IFRIC 21 への移行の影響を含む

(2) 2014 年度には、当社株主に支払った配当に対する課税を含め、前年同期の 1 億 900 万ユーロに対し、1 億 1,000 万ユーロとなった

付録5:純負債の変動

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 上半期	2013 年度 上半期 ⁽¹⁾
事業純利益	3,084	3,077
有形固定資産およびソフトウェアの減価償却、償却、および減損	582	594
非流動資産の純売却損益(税控除後)	(97)	(154)
その他の非現金項目	(98)	(277)
運転資本変動前の営業キャッシュフロー⁽²⁾	3,471	3,240
運転資本変動 ⁽²⁾	(552)	(859)
有形固定資産およびソフトウェアの取得	(529)	(586)
フリーキャッシュフロー⁽²⁾	2,390	1,795
ソフトウェアを除く無形固定資産の取得	(108)	(142)
投資株式の取得(引受債務込み) ⁽²⁾	(1,679)	(273)
支払い済みの事業再編費	(382)	(325)
有形固定資産、無形固定資産、およびその他の非流動資産の処分益(税控除後)	179	266
サノフィ株式の発行	240	741
当社株主に支払った配当	(3,676)	(3,638)
自社株買い戻し	(1,010)	(890)
自己株式の処分(税控除後)	-	2
配当を含む非支配株主との取引	(6)	(10)
為替変動の影響	(37)	17
その他項目	(62)	4
純負債の変動	(4,151)	(2,453)

(1) IFRIC 21 への移行の影響を含む

(2) 事業再編費用を除く

付録 6: 簡易連結貸借対照表

資産の部 (単位:100 万ユーロ)	2014 年 6 月 30 日 現在	2013 年 12 月 31 日 現在 ⁽¹⁾	負債・資本の部 (単位:100 万ユーロ)	2014 年 6 月 30 日 現在	2013 年 12 月 31 日 現在 ⁽¹⁾
有形固定資産	10,090	10,182	当社株主に帰属する持分	51,637	56,904
無形資産(営業権を含む)	51,675	52,529	非支配株主に帰属する 純利益	130	129
非流動金融資産、関連会社 株式、繰延税金資産	8,568	9,418	資本合計	51,767	57,033
			長期債務	10,113	10,414
			合併や非支配持分に関連した 固定負債	974	884
固定資産	70,333	72,129	引当金およびその他の固定 負債	9,066	8,735
			繰延税金	4,600	5,060
在庫額、売掛金、およびそ の他の流動資産	16,063	15,655	固定負債	24,753	25,093
現金および現金同等物	4,306	8,257	買掛金およびその他の流動 負債	9,408	9,728
			合併や非支配持分に関連し た流動負債	109	24
			短期借入金および一年内返 済予定長期借入金	4,683	4,176
流動資産	20,369	23,912	流動負債	14,200	13,928
売却または交換するために 保留している資産	18	14	売却または交換するために保 留している資産に関連する負 債	-	1
資産合計	90,720	96,055	負債・資本合計	90,720	96,055

(1) IFRIC 21 への移行の影響を含む

付録7:2014年の為替感度

1株当たり事業利益の為替感度

- ユーロ/ドルの1%変動は、2014年度の1株当たり事業利益に対する0.5%の影響に相当します。
- ユーロ/円の1%変動は、2014年度の1株当たり事業利益に対する0.1%の影響に相当します。

2014年度第2四半期売上高に対する通貨変動リスク

通貨	
米ドル	33%
ユーロ	25%
日本円	6%
ブラジル・リアル	4%
中国元	4%
ロシア・ルーブル	3%
英ポンド	2%
メキシコ・ペソ	2%
カナダ・ドル	1%
オーストラリア・ドル	1%
その他	19%

平均為替レート

	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	前年度比
ユーロ/ドル	1.31	1.37	4.6%
ユーロ/円	129.02	140.03	8.5%
ユーロ/リアル	2.70	3.06	13.3%
ユーロ/ルーブル	41.38	47.96	15.9%

付録 8: 研究開発パイプライン

申請中

<p>Toujeo® (U300) インスリン グラルギン 1 型・2 型糖尿病、米国、欧州連合 (EU)</p>	<p>Lemtrada™ (一般名: alemtuzumab) 抗 CD52 モノクローナル抗体 多発性硬化症、米国</p>	<p>Quadracel® ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオワクチン 4~6 歳用</p>
	<p>Cerdelga™ (一般名: eliglustat tartrate) グルコシルセラミド合成酵素阻害剤 ゴーシェ病、米国、欧州連合 (EU)</p>	<p>Fluzone® QIV ID 4 価不活化 インフルエンザワクチン皮下接種</p>

第 III 相

<p>LixiLan リキシセナチド + インスリン グラルギン 固定比率合剤/2 型糖尿病</p>	<p>alirocumab 抗 PCSK-9 モノクローナル抗体 高コレステロール血症</p>	<p>デング熱 軽度から重度までの デング熱に対するワクチン</p>
<p>Lyxumia® (リキシミア) (一般名: リキシセナチド) GLP-1 受容体作動薬 2 型糖尿病、米国</p>	<p>Kynamro® (一般名: mipomersen) アポリポタンパク質 B-100 アンチセンス 重度の家族性高コレステロール血症ヘテロ接合体 米国</p>	<p>クロストリジウム・ディフィシル トキシノイドワクチン</p>
<p>sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル抗体 関節リウマチ</p>	<p>ジェブタナ® (一般名: カバジタキセル) 転移性前立腺がん (一次療法)</p>	<p>PR5i DTP-HepB-Polio-Hib (ジフテリア・破傷風・百日咳、B 型肝炎、 ポリオ、ヒブ) 小児用 6 種混合ワクチン</p>
<p>SAR438037 (一般名: patisiran) mRNA 阻害剤 家族性アミロイドポリニューロパチー</p>	<p>SYNVISC-ONE® 医療機器 変形性関節炎による腰痛</p>	<p>VaxiGrip® QIV IM 4 価不活化 インフルエンザワクチン</p>

第 II 相

<p>dupilumab 抗 IL4Rα モノクローナル抗体 アトピー性皮膚炎、喘息、鼻ポリープ</p>	<p>SAR391786 抗 GDF8 モノクローナル抗体 サルコペニア</p>	<p>ロタウイルス 経口弱毒化 4 価生ロタウイルスワクチン</p>
<p>SAR339658 抗 VLA 2 モノクローナル抗体 多発性硬化症</p>	<p>SAR650984 抗 CD38 モノクローナル抗体 血液がん</p>	<p>狂犬病 VRVg 精製ペロ細胞狂犬病ワクチン</p>
<p>SAR156597 IL4/IL13 モノクローナル抗体 特発性肺線維症 (IPF)</p>	<p>SAR3419 メイトンシン搭載抗 CD19 モノクローナル抗体 難治性/再発性 B 細胞悪性腫瘍</p>	<p>髄膜炎菌 (4 価 ACYW) 結合型ワクチン 第 2 世代の髄膜炎菌結合型乳幼児ワクチン</p>
<p>SAR438714 (ALN-TTRsc) RNAi 家族性アミロイド心筋症</p>	<p>併用療法 SAR245409 (XL765) / MSC1936369B PI3K および mTOR を阻害する経口二重阻害剤 / pimasertib 卵巣がん</p>	<p>結核 遺伝子組換えサブユニットワクチン</p>

sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル抗体 ブドウ膜炎	併用療法 ferroquine / OZ439 抗マラリア薬 マラリア	N
fresolimumab TGFβ 拮抗剤 巣状分節性糸球体硬化症	SAR279356 (F598) 抗 PNAG モノクローナル抗体 重度の感染症	N

第 I 相

SAR405838 (MI-773) HDM2 / p53 拮抗剤 固形がん	SAR113244 抗 CXCR5 モノクローナル抗体 全身性エリテマトーデス (SLE)	GZ402665 (rhASM) ニーマンピック病 B 型
SAR566658 メイタンシン搭載抗 CA6 モノクローナル抗体 固形がん	SAR252067 抗 LIGHT モノクローナル抗体 クロウン病	GZ402671 経口グルコシルセラミド合成酵素阻害剤 ファブリー病
SAR125844 C-MET キナーゼ阻害剤 固形がん	SAR228810 抗プロトフィブリル AB モノクローナル抗体 アルツハイマー病	GZ402666 Neo GAA ボンペ病
SAR260301 PI3K β 選択的阻害剤 PTEN 欠損がん	SAR425899 GLP-1 / GCGR 作動薬 糖尿病	肺炎レンサ球菌 髄膜炎・肺炎ワクチン
SAR307746 抗 ANG2 モノクローナル抗体 固形がん	SAR342434 インスリン リスプロ 糖尿病	単純ヘルペスウイルス 2 型 HSV-2 ワクチン
SAR245408 (XL147) 経口 PI3K 阻害剤 固形がん	GZ402663 (sFLT-01) 遺伝子療法 加齢黄斑変性症 (AMD)	
併用療法 SAR405838 / MSC1936369B 固形がん	StarGen® 遺伝子療法 シュタルガルト病	N
SAR438584 ターゲット未開示	UshStat® 遺伝子療法 アッシャー症候群 1B	N

N: 新規分子化合物

付録 9: 2014 年度下半期/2015 年度上半期に見込まれる研究開発マイルストーン

製品	イベント	時期
Cerdelga™ (一般名: eliglustat tartrate)	ゴーシェ病に関する米国の規制当局の決定	2014 年度 第 3 四半期
デング熱ワクチン	第 III 相試験の 2 回目の結果 (中南米)	2014 年度 第 3 四半期
PR5I (ジフテリア・破傷風・百日咳、B 型肝炎、ポリオ、ヒブ)	米国での薬事承認申請	2014 年度 第 3 四半期
Dupilumab (anti-IL4Rα mAb)	アトピー性皮膚炎における第 III 相試験の開始	2014 年度 下半期
新規インスリン リスプロ (SAR342434)	糖尿病における第 III 相試験の開始	2014 年度 下半期
Lemtrada™ (一般名: alemtuzumab)	多発性硬化症に関する米国の規制当局の決定	2014 年度 第 4 四半期
Cerdelga™ (一般名: eliglustat tartrate)	ゴーシェ病に関する EU の規制当局の決定	2014 年度 第 4 四半期
Alirocumab (抗 PCSK9 モノクローナル抗体)	高コレステロール血症に関する米国および EU での薬事承認申請	2014 年度 第 4 四半期
Fluzone® QIV ID (4 価皮内接種)	米国の規制当局の決定	2014 年度 第 4 四半期
ロタウイルスワクチン	第 III 相試験の開始	2014 年度 第 4 四半期
Fluzone® High dose (高用量)	米国のラベル更新	2014 年度 第 4 四半期
デング熱ワクチン	優先国での薬事承認申請	2015 年度 第 1 四半期
dupilumab (抗 IL4Rα モノクローナル抗体)	喘息における第 IIb 相試験の重要な結果	2015 年度 第 1 四半期
Lyxumia® (リキスミア) (一般名: リキシセナチド)	ELIXA CV アウトカム試験の重要な結果	2015 年度 上半期
Toujeo® (U300)	糖尿病に関する米国および EU の規制当局の決定	2015 年度 上半期

付録 10: GAAP (一般会計原則) と異なる財務指標の定義

純売上高 (為替レート変動の影響を除く)

「純売上高 (為替レート変動の影響を除く)」での変化に言及する場合は、為替レート変動の影響が排除されていることを意味します。

為替レートの影響は、前期に使用された為替レートで当期の売上高を再計算することによって、排除されます。

2014 年度第 2 四半期および 2014 年度上半期の純売上高 (調整前) から純売上高 (為替レート変動の影響を除く) への調整

(単位: 100 万ユーロ)	2014 年度 第 2 四半期	2014 年度 上半期
純売上高	8,075	15,917
為替レートの影響	443	940
純売上高 (為替レート変動の影響を除く)	8,518	16,857

純売上高 (グループ構成の変動要因を除く)

以下のとおり、前期の純売上高を修正することにより、グループ構成の変動の影響が排除されます。

- 買収の影響は、買収の対象となった企業から提供された売上高に関する情報に基づき、現在の期間 (企業または製品の権利が取得された期間) に相当する、買収された企業または製品の前期部分の売上高を含めることによって、排除されます。
- 同様に、企業または製品の権利を売却した場合には、該当する前年同期部分の売上高が排除されます。
- 連結方式の変更については、現在の期間に使用された方式に基づいて、前期部分が再計算されます。

事業純利益

サノフィは、GAAP (一般会計原則) と異なる主要指標を公表します。この「事業純利益」という指標は「特別項目を除いた調整後純利益」を置き換えるものです。

事業純利益は、当社株主に帰属する純利益から以下の項目を除外したものと定義されます。

- 無形固定資産の償却
- 無形固定資産の減損
- 合併に関連する偶発対価債務の公正価値での再評価
- 買収に関連するその他の影響 (関連会社に対する買収の影響など)
- 事業再編費用⁽¹⁾
- その他の損益 (非流動資産の売却損益⁽¹⁾を含む)
- 訴訟に関わる費用または引当金⁽¹⁾
- 上記の各項目に対する税効果と主要な税務訴訟の影響
- 当社株主に支払った配当に対する課税 (3%)

(1) 連結損益計算書の Note B.20. で定義されているとおり、再編費用と売却・訴訟に関わる損益の勘定科目で報告されます。

サノフィについて

サノフィは、グローバル事業を統合的に展開するヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。サノフィは、ヘルスケア分野において 7 つの成長基盤を中核としています。それは糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、および新生ジェンザイムです。サノフィはパリ(EURONEXT:SAN)およびニューヨーク(NYSE:SNY)に上場しています。

今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995 年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、為替レートと実勢金利のトレンド、コスト削減方針とその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの 2013 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。